

イングランドでは、子宮頸がんの検診がコロナ禍の影響を受けて遅れており、病院での受診が再開したものの、コロナの感染を心配して、受診をためらうという調査結果(※)が出ている。傾向として、白人女性よりも、黒人・アジア人・少数民族の女性が子宮頸がんの検診や、病院にかかること自体を危惧している。しかし、そもそもコロナ禍以前から受診率が低いことも分かっている。

この調査を行ったチャリティ団体 Jo's Cervical Cancer Trust が、早急な対応を求めたこともあり、NHS イングランドⁱ、パブリックヘルスイングランドⁱⁱ、キングスカレッジロンドンが、ロンドンの住民を対象として、試験的に検査キットによる自宅でのセルフチェックを導入した。

デンマークとオーストリアではすでにセルフチェックが導入されているが、イングランドでの試行は初のことである。ロンドンの住民が対象となった理由としては、ロンドン是国内でも子宮頸がんの検診率が低いいため、試験を行うのに適当だということである。

この検査キットは、綿棒などで細胞をとるもので、従来の検査と比較し痛みなどが少ないようである。

対象は、検査が 15 ヶ月間遅れており、ロンドンでも特に受診率が低い地区に住む 25 歳から 64 歳の 31,000 人以上の女性である。検査キットについては、郵送で受け取る場合と、かかりつけ医から受け取る場合がある。検査結果は、後日、かかりつけ医と本人に送られる。もし、子宮頸がんの原因となる HPV(ヒトパピローマウイルス)が検出された場合は、かかりつけ医を受診して再検査となる。

ある調査によると、子宮頸がんの検診を受診しない人の主な理由は、コロナ禍で浮き彫りになった文化的背景による違いのみならず、恥ずかしさや、検査に対する恐怖心も引き金となっているようである。

キングスカレッジロンドンの Anita Lim 博士によれば、**子宮頸がんの検診は、命を守るための検査であるにもかかわらず、様々な要因によりためらう人がいるため、検査を受けやすくすることが必須**だという。自宅での検査は、簡単な上にプライバシーを守ることのできるため、検査の受診率を大幅に改善することが可能であると期待される。

(所感)

コロナ禍において医療現場が逼迫し、持病などを患う人の受診が遅れているというニュースを見ていたため、コロナにより新たな命が失われない取り組みが始まったことは、とても嬉しい。また、パンデミック以前から存在していた子宮頸がんの検査受診率が低いという課

題が、パンデミックをきっかけに優先度が高まり、解決策が図られたという点においても、前進していると感じる。命を守るための検査が進まない原因の1つが、‘恥ずかしさ’ということであれば、これは、各国共通の課題ではないだろうか。

しかし何と言っても、少数民族が検査から取り残されないようにするという視点が、意義深い。改めてロンドンが多国籍な都市であるということと、イギリスにおける熱心なチャリティ団体の活動が素晴らしいと感じた。

この取り組みが、ロンドンからイギリス国内のみならず、世界各国に広まり、とりわけ少数民族の健康がコロナ禍で犠牲にならないことを望む。

(※) Jo's Cervical Cancer Trust による調査結果(抜粋)

	黒人・アジア人・少数民族の女性 (225 人)	白人女性 (1,752 人)
子宮頸がんの検診で、コロナに感染することを危惧する人の割合	20%	9.4%
子宮頸がんの検診に限らずコロナ禍で病院にかかることを危惧する人の割合	39.6%	27.2%
子宮頸がんの検診において導入されるコロナ対策の情報を強く求める人の割合	26.7%	14.6%

【参照】

<https://www.theguardian.com/society/2021/feb/24/home-smear-tests-to-be-trialled-in-london-following-lockdown-delays>

[Cervical cancer: minority ethnic women more likely to miss screenings in pandemic | Cervical cancer | The Guardian](#)

ⁱ NHS とは、英国医療制度のこと。サービスは英国全土に跨るが、イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドの各地域ごとに分割・運営されている。

[英国における医療体制 | Japan Local Government Centre \(JLGC\) : London](#)

ii NHS 同様、保健省(Departmeent of Health & Social Care)の管轄下にある。

公衆衛生の推進にあたり、研究・データ分析、地方自治体や NHS イングランドの支援などを行う。[About us - Public Health England - GOV.UK \(www.gov.uk\)](http://www.gov.uk)